

知事選において大村候補の街宣責任者を務めました

1月19日告示、2月5日投票日で施行された愛知県知事選挙において、大村事務所より街宣責任者を拝命し、17日間の選挙戦に加えて、事前の政治団体活動においても12月24日より参加しました。知事選の活動範囲は愛知県全域であり、尾張から東三河はもちろん、南知多の離島へも赴きました。大村知事の人気は皆さんの周知のとおりですが、そこにはこれまでに積み上げてきたきめの細かい政策やそれらによってあがっている実績があります。今回の知事選のスローガンは「日本一元気な愛知をつくり、日本の未来をつくる」というものですが、3つの主な政策「すべての人が輝くあいち」「産業首都あいち」「ジブリパークのあるあいち」を掲げています。この中にさらに細かな施策を用意してありますが、大変わかりやすく伝わりやすいもので、その点も勉強になりました。2月5日には投票箱のふたが閉まる瞬間に「当選確実」がでて、一同安堵しましたが、一方で選挙期間中に受けた様々な選挙妨害には大変な憤りを感じるものがありました。  
 ※なお、4月9日投票日の統一地方選では新人候補の応援をお願いしましたが、結果を出せず申し訳ありませんでした。



「デジタル推進委員」に任命されました

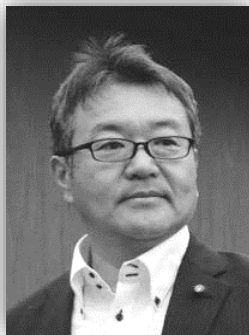
デジタル推進委員は、デジタル機器やサービスに不慣れな方にきめ細かなサポートなどを行うことで、社会全体として、デジタル社会の利便性を誰一人取り残されず享受できる環境を作っていくための取り組みです。サポートする事項としては、「マイナンバーカード・マイナポータルの利用方法」「各地で実装されているデジタルサービスの利用方法」「デジタル機器・サービスの利用方法」などがあります。デジタル推進委員には、デジタル庁からオープンバッジ(電子的な画像によるバッジ)を付与します。



「子ども安全管理士」の資格取得

一昨年より、子どもの事故予防地方議員連盟の一員として活動しておりますが、1年間かけて研修を重ね、子ども安全管理士の資格を取得しました。子ども安全管理士とは、安全を優先し、愛情豊かにみんなで子育てができる環境を追求するスペシャリストとして活動する民間の資格です。得られた知識を活用し、子どもを最優先として安全な環境を整えるためのリーダーを育成します。※0歳から19歳の子どもの死亡原因の第1位は、病気ではなく“不慮の事故”であり、半世紀以上変わっていません。大人の不注意による事故を減らすために、取り組んで参ります。

プロフィール

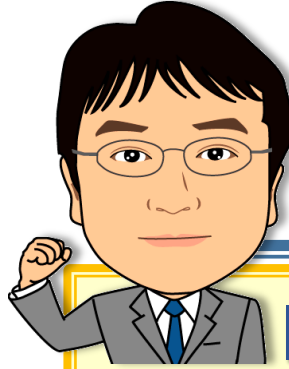


昭和41年7月25日生まれ(獅子座、B型)  
 はなの木幼稚園、八ツ田小学校、知立中学校卒業  
 刈谷高等学校、立命館大学卒業(社会学士課程修了)  
 中、高、大、社会人時代ハンドボール部所属  
 オフィス・ティスタジオ代表(平成5年〜)  
 平成22年 知立市議会議員初当選  
 平成26年 知立市議会議員2期目当選  
 平成28年 新会派「立志会」設立、幹事長  
 平成30年 知立市議会議員3期目当選  
 第51代知立市議会議員  
 令和元年 第52代知立市議会議員  
 令和2年 議会運営委員長、立志会会長  
 令和3年 市議会だより編集委員長(継続)  
 議会DX推進PT座長(継続)  
 知立市議会議員4期目当選  
 新会派「篤心会」設立、会長

- ・八ツ田小学校 第30代PTA会長(知立市P連会長兼任)
- ・八ツ田小あんしんみまもり隊初代隊長(現事務局)
- ・ちりゅうこどもフェスティバル実行委員会発足(現監事)
- ・知立市商工会 理事、知立ライオンズクラブ 会員
- ・知立市スポーツ協会 監事、知立市テニス協会 会長、
- ・知立市国際交流協会 理事、愛知県交通安全協会安城支部 理事
- ・愛知県ドッジボール協会 事務局長、愛知県スポーツ協会競技委員
- ・日本ドッジボール協会東海ブロック 事務局長
- ・日本ドッジボール協会公認C級審判員、A級指導員
- ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(コーチ1)
- ・知立市「宇宙の学校」スタッフ、USYせせらぎの会 顧問
- ・日本防災士機構認定防災士(No.132526)
- ・熱中症対策アドバイザー(熱中症予防声かけプロジェクト)
- ・マニフェスト大賞実行委員会事務局
- ・子どもの事故予防地方議員連盟会員(子ども安全管理士)
- ・デジタル推進委員(デジタル庁)

最後までお読みいただき、ありがとうございました。今後とも、ご支援のほど、よろしくお願い致します。

討議資料



田中たけし

後援会  
 だより

〒472-0012 知立市八ツ田町1-3-1 Tel:83-9974 Fax:050-3488-1346

コロナ収束傾向の中、令和5年度スタート

田中たけし後援会だより(第54号)をご覧いただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の扱いが2類相当から5類に変更されることになり、この春からマスク着用などのフェーズも変わってきました。ウイルスがこの世から消えたわけではないですが、「未知の脅威」も人間の科学の叡智により緩和され、まさに「ウイズコロナ」の社会となってきました。この3年間、社会にさまざまな影響を及ぼしてきましたが、我々も「賢く付き合っていく」ことが求められます。今回の「三密」を回避する中での活動には、様々なパラダイムシフトが起きました。特に、デジタル化は、その有用性が一気に認知され、大きく前進してきました。コロナ前よりICT化デジタル化の推進による、効率化や利便性の向上を訴えてきた私としては、まさに「ピンチはチャンス」でした。

この度、デジタル庁より「デジタル推進委員」に認定され、河野太郎大臣より任命状をいただきました。今後、デジタル化による利便性が多くの皆様に享受されるよう、努力して参ります。何か、お困りのことがありましたらお気軽にお問い合わせください。詳細は裏面に記載します。

少し前の話になりますが、年末年始は愛知県知事選挙の大村秀章知事の街宣責任者を務めました。本格的に活動を始めた12月24日から投票日の2月5日まで、大村知事の運動をお支えする中で、政治姿勢や政策を傍で学ぶことができ貴重な体験となりました。これを今後の私の活動にも活かして参ります。

さて、前置きが長くなりましたが、令和5年度がスタートしました。裏面で報告しますが、3月定例会では新年度予算が審議され、可決されました。一般会計、特別会計、企業会計をあわせた知立市の総予算額は、史上初の400億円を超える過去最高額となりました。3月21日に本線豊橋方面の高架駅が供用開始した知立駅付近連続立体交差事業ですが、街路事業や区画整理事業など関連事業をあわせると、今年度は



知立駅高架化記念式典(3/26)で大村知事を囲んで(左から)酒井参議員、私、平野MC、高崎名鉄社長、大村知事、林市長、中野議長、石井衆議員

16億円(前年度2.8億円増)となっています。令和10年度の連立事業完成、その後の周辺整備完成はさらにそれ以降になりますが、私が本会議で要求してきた「ロードマップ」も市から示されました。また、ハード整備だけでなく、最も重要な「地域経済の活性化」、「まちのにぎわいづくり」を協議するための「エリアプラットフォーム」の設置の提言も実現しました。これからは、行政だけでなく、市民の皆様を巻き込んだまちづくりが進められるものと期待しています。100年に一度のまちづくりがこれからの知立市の100年を築いていくための起爆剤となるよう、引き続き尽力して参ります。

今後とも皆様のご支援ほど、よろしくお願い致します。

知立市議会議員 田中 健(56歳)



←田中たけしの最新情報はコチラ

田中健 知立

たなかとつながる



公式 LINE

# 3月定例会が開催されました

2月22日～3月17日の期間で3月定例会が開催され、以下の内容で質問に立ちました。

## ■ 一般質問を行いました（3月6日）

### （1）誰もが健康で豊かに暮らせる環境のまち

環境基本計画の基本目標1の「低炭素で豊かに暮らせるまちづくり」については、令和4年2月に知立市が「ゼロカーボンシティ」を表明し、今後ますます「カーボンニュートラル」に向けた取り組みが推進される。また基本目標3の「資源を大切にすまじづくり」では、ごみの減量やリサイクルの推進が求められる。リサイクルの推進については、昨年の市民福祉委員会から政策提言をした「資源回収ステーション」の設置が、八橋町井戸尻駐車場に設置され、確実に成果を上げており、令和5年度はさらに拡充されることが決まっている。

今回の質問で特に重点的に質したことは、「資源ごみの不法持ち出し対策」。現在の知立市では、決められた曜日、各町内会の集積所に分別して持ち込み、それを市が指定した業者が収集することになっている。ところが、市外から来て、換金できる資源ごみを無断で持ち出している業者がいることが判明した。一見違法と思える資源ごみ持ち出し行為に対して、現在の知立市の条例では、警察も摘発できない状態であり対処が困難なため、条例を改正して持ち出しが違法行為となるよう提言した。

**Q：条例整備の方法としては、①資源ごみの所有権を自治体に帰属させる、②市の指定業者以外の者が回収することを禁止する、の2通りが考えられるが、早急に整備する考えは？**

**A：市の担当課にもこれまでいく度か市民から通報があったが、十分に対応できていなかった。指摘された通り条例を整備し、不法な持ち出しに対応できるようにする。**

### （2）デジタル化による地域振興

コロナ化で推進したデジタル社会を、より効果的にかつ多くの人に利便性が享受されるよう、自治体として取り組んでいく必要性について「知立市DX推進指針」の内容と、市民サービスのデジタル化の取り組みについて質した。

あわせて、ここまでは順調に進んでいる公式LINEアカウントの運用について進捗を確認し今後の活用を提言した。

「知立市LINE公式アカウント」は令和2年10月より、紙版の「広報ちりゅう」の発行を月2回から1回に減らす際に、それを補完するものとして導入した。登録者が伸び悩む中、先進事例を参考にクーポン事業を開始し、3月1日現在48,000人を超えている(表①参照)。運用の主たる目的は情報インフラの整備のため、引き続き最小限の経費で最大限の効果を生み出す、魅力的な運用を提言した。

**Q：行政サービスにおけるデジタル化の進捗と成果は？**

**A：令和4年7月から「おくやみ窓口」の開設、9月から「キャッシュレス決済」の開始、など指針に基づいてDXを進めている。3月から開始した「スマート窓口」ではマイナンバーカードなどから読み取った情報から届出書を電子的に作成するため、申請書の記入負担が軽減します。業務に関しては、「電子決裁」「電子回覧」を推進し、ペーパーレス化を図っている(令和5年1月時点、電子決裁：20,894件、電子回覧：64,458件)。その他、クラウドサービスを利用した職員自作のシステムが稼働しており、電子アンケートも121フォームが稼働している。**

**Q：市公式LINE登録者を分析すると(表②)、LINE全体の利用者と比べて若者世代(特に10代・20代のZ世代)が少ないため、そこをターゲットにした企画が必要では？**

**A：公式LINEアカウントの登録者は48,000人を超えているが、市内登録者は約3万人、市外は約4,000人、未回答が約1万人。市内登録者を増やして行きたいので、そのような企画を計画する。全体の登録者を増やすとともに、Z世代の登録が今後の課題であり、連携事業を行っている高校や大学との事業を検討する。**

また、今後は、各部署で実施しているポイント事業をLINEポイントに統合できないか、検討してみる。

※一般質問の全容は知立市議会ホームページの「一般質問のネット配信」でご覧いただけます。



## ■ 本会議質疑、委員会質疑、本会議討論を行いました

### □ 本会議質疑（2月27日）

#### ■ 令和4年度一般会計補正予算

・「駅周辺整備・連続立体交差事業」全般について、当初予算と補正予算から執行額と執行率を見る(表③)  
 →3月21日より連立事業の一部供用開始となる中、以前より提示を求めてきた「ロードマップ」について、関連事業全体像が時系列で見えてくるが、もう少し綿密なものを求めた。令和5年度に供用開始となる三河知立移設駅(連立関連事業)に関して、数字上の進捗の遅れが目立ったため、内容を質した。

#### ■ 令和5年度一般会計当初予算

・「児童発達支援事業」について、知立ひまわり園で実施されている療育の質と量の向上を求めた。  
 ・「大河ドラマ関連事業」について内容を確認し、ドラマを契機とした観光施策の充実を求めた。

事業名	令和4年度		令和5年3月	
	当初予算	補正予算	執行額	執行率
知立駅周辺土地区画整理事業	¥ 402,464	¥ -132,429	¥ 270,035	67.1%
土地区画整理事業調査委託料	¥ 19,020	¥ -8,970	¥ 10,050	52.8%
区画整理本工事費	¥ 144,000	¥ -53,512	¥ 90,488	62.8%
上下水道移設負担金	¥ 19,876	¥ -15,980	¥ 3,896	19.6%
物件移転補償金	¥ 161,000	¥ -24,893	¥ 136,107	84.5%
損失補償金	¥ 42,000	¥ -20,892	¥ 21,108	50.3%
知立連続立体交差事業	¥ 787,500	¥ -192,825	¥ 594,675	75.5%
知立連続立体交差事業負担金	¥ 787,500	¥ -192,825	¥ 594,675	75.5%
知立連続立体交差関連事業	¥ 101,800	¥ -72,698	¥ 29,102	28.6%
知立連続立体交差関連工事費	¥ 41,900	¥ -30,331	¥ 11,569	27.6%
用地購入費	¥ 15,000	¥ -9,390	¥ 5,610	37.4%
工事負担金	¥ 10,200	¥ -10,200	¥ -	0.0%
物件移転補償金	¥ 21,900	¥ -18,507	¥ 3,393	15.5%
西新地区土地利用計画調査委託料	¥ 7,699	¥ -363	¥ 7,336	95.3%
土地利用計画調査委託料	¥ 7,480	¥ -363	¥ 7,117	95.1%
知立駅周辺土地区画整理事業	¥ 10,000	¥ -2,654	¥ 7,346	73.5%
事業検討委託料	¥ 10,000	¥ -2,654	¥ 7,346	73.5%

### □ 企画文教委員会、予算・決算委員会企画文教分科会（3月10日）

#### ■ 令和5年度一般会計予算

・日本語教室等開催事業(新規)500万円：SDGs未来都市として、市が主催する日本語教室の量が不足しているため、民間に委託して実施するもの。日本語能力別に複数のクラスを設け、リアル・オンラインの両方で開催。また、さらなる向上を目指すキャリア教育も実施する。  
 ・防犯パトロール車両購入事業(新規)829.6万円：現在使用している2台の青色防犯パトロール車(H17、H18登録)を買い替える。カーボンニュートラルの観点からEV車を予定している。  
 ・企業立地推進補助金交付事業(臨時)2,525.5万円：いずれも西町における新設・増設に関する、企業再投資促進補助金と企業立地公共施設整備補助金。今後産業促進拠点(上重原、西中)での企業立地が進められる予定。  
 ・学校給食運営事業・物価高騰による賄材料費(臨時)1,743.6万円：学校給食の食材購入費は1食小学生250円、中学生280円を保護者が負担しているが、昨今の物価高騰による給食の賄材料費も値上がりしている。給食の質を落とさず、また子育て世帯の負担軽減を図るため、1食あたり15円の食材費を市費で充てるもの。  
 ・電子図書館システム使用料(継続)26.4万円：2月1日にサービスが始まった電子図書館は、登録者数は13,832人で蔵書数は7,230点(リアル：登録者60,804人、蔵書数232,077点)。2月の利用実績は、利用者387人、貸出数1,194点(リアル：利用者6,033人、貸出数29,977点)。  
 ・過年度補助金返還金(臨時)3,497.9万円：知立市野外センターを売却するにあたり、建設の際に受けた国・県の補助金の返還が必要。令和3年3月議会で議決された「知立市野外センター条例を廃止する条例」の質疑の際に「補助金適正化法第22条」に触れて問題ないかの確認がされ、「無償譲渡の場合は返還金はない。有償譲渡の場合は確認中」ということだったが、その後議会には報告がなく、入札手続きが進んでいる中で、売却額に応じて補助金の返還が必要であることが判明した。事の経緯や議会への報告の遅れなど、公金のあり方について、姿勢を質す必要がある。



### □ 本会議討論（3月17日）

#### ■ 議案第19号「令和5年度知立市一般会計予算」 →賛成討論

・会派を代表して討論を行いました。内容の全文については、クラウドサービスにデータが保存してありますので、右のQRコードをスマホ・タブレットのカメラで読み取ってご利用ください。

※この他にも、予算・決算委員会、議会運営委員会でも多くの発言をしました。  
 引き続き、議会の活性化、機能強化に努めて参ります。



月日	累計	差	備考
令和2年10月1日	1,334	1,334	運用開始
11月1日	3,329	1,995	
12月1日	3,839	510	広報のみの運用
令和3年1月1日	4,261	422	
2月1日	4,513	252	
11月1日	6,446	1,933	13か月で6,400人
11月30日	10,937	4,491	クーポン告知
12月8日	16,660	5,723	まんぷく一ぼん【第1弾】
令和4年6月1日	17,529	869	半年間で800人
8月31日	19,927	2,398	クーポン告知
9月30日	27,899	7,972	まんぷく一ぼん【第2弾】
10月31日	34,242	6,343	まんぷく一ぼん【おかわり】
11月30日	39,018	4,776	まんぷく一ぼん【特盛】
令和5年1月3日	40,252	1,234	クーポン告知
1月28日	48,769	9,751	おとく一ぼん
令和5年3月6日			

	全体	知立	備考
14歳未満	-	5.9%	
10代	88.7%	30.8%	15~19歳
20代	98.1%	47.8%	
30代	93.4%	70.4%	
40代	87.7%	71.0%	
50代	82.6%	70.9%	
60代	52.8%	61.0%	
70代	-	36.3%	
80歳以上	-	13.8%	

※マクロミル社・インターネット調査2021

※受信設定で登録した人37,104人(2/17) / 人口72,017人(2/1)